

北海道浮魚ニュース

平成 12(2000)年度 11号(通巻 No.81)

2000年8月15日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

平成 12 年度北西太平洋サンマ長期漁況海況 予報発表される。

8月7～8日に東北区水産研究所(塩釜市)において、平成12年度北西太平洋サンマ長期漁況海況予報会議が開催され、予報文が発表されましたのでお知らせします。

【漁況予報】

本予報は漁期を通しての全般的な漁況を予報するものである。ただし、漁場の細かい推移など現時点で予測し得ないものもあるので、10月中旬に「漁期後半の見通し」を出してこれらの点について補足する。

漁場への来遊状況

漁場への来遊資源量は、1999年並であろう。ただし、150°E以東に分布する魚群が漁獲対象になるまでは、漁況は低調に推移する。

魚体組成

漁期当初は、大型(29～32cm)・小型(20～24cm)魚が主体で中型(24～29cm)魚は少ないが、沖合の魚群が漁場に参加するとともに特大(32cm～)・中型魚の割合が増える。その後漁期の進行に伴い中型魚の比率がさらに高まり、終漁間際には小型魚の割合が再び増加する。

漁場位置

8月中旬の道東及び南部千島列島沿岸の漁場形成は不振であろう。8月下旬の大型船解禁当初には主漁場はウルップ島の東海域に形成される。漁期の進行に伴って漁場は南西に移動する。魚群の南下が例年より遅れるため、漁場形成時期は道東が9月中旬以降、三陸沿岸が10月上旬以降になるであろう。また、色丹島沖暖水塊および三陸沖暖水塊の縁辺で一時的に好漁場が形成される。

【海況予報】

今後の見通し（2000年9～11月 図1）

近海の黒潮の北限は $36^{\circ}\text{N} \sim 37^{\circ}\text{N}$ で推移する。

黒潮系暖水の北への張り出しは、沖合を中心に平年より北寄りに推移する。

近海（ 146°E 以西）では、11月までに 40°N を越えて張り出す。

沖合では、（11月までに*） $147^{\circ}\text{E} \sim 149^{\circ}\text{E}$ で 42°N を越えて張り出す。 * 釧路水試注

色丹島沖の暖水塊は北東へ移動する。

三陸沖暖水塊は北へ移動する。

親潮第1分枝は沖寄りを中心に張り出し、張り出しは平年並（ 40°N 以北）である。親潮第2分枝の張り出しは 39°N 付近までである。

三陸から常磐近海では一時的に冷水域の影響を受ける。

津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢（ $143^{\circ} \sim 143^{\circ}30'\text{E}$ 付近）である。

なお、水産庁東北区水産研究所のホームページには、魚群の分布や海況の経過なども解説した予報文が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

水産庁東北区水産研究所HPアドレス：<http://ss.myg.affrc.go.jp/index-j.html>

（文責：釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222）

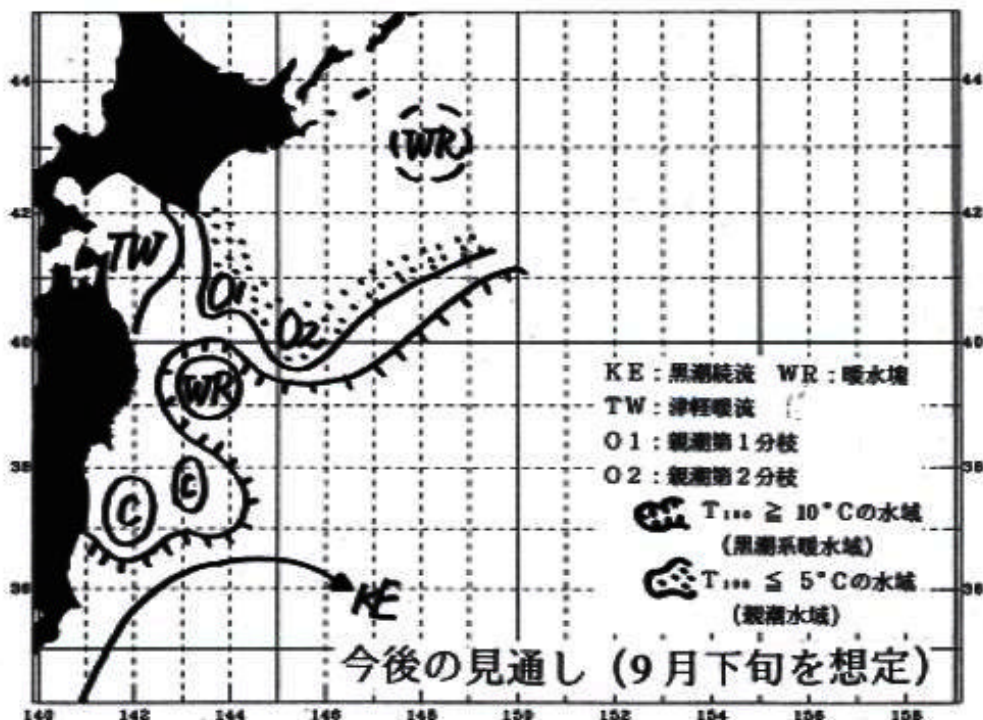


図1 海況の見通し（9月下旬を想定）